

# カンヌッキG型設置操作マニュアル ～電動編～



撤去する支柱に対して、画像の様にプレートを置く。  
レベルプレートを置くことによりカンヌッキ本体が安定し、  
支柱の引抜きが容易になります。  
(プレートはオプションの為、別売になります。)



カンヌッキ本体を支柱の上から貫通する様に通し、  
プレートの上にカンヌッキ本体を設置する。



二つ割れのチャックを支柱とカンヌッキ本体の間に装着。



二つ割れのチャックを完全に装着出来たら、  
チャックが水平に入っているか確認をする。  
バランス良く水平に装着出来ていない場合は、  
水平になる様に再度、装着し直してください。  
水平に装着が出来ていない場合は、チャックの  
破損の原因に繋がります。



手動ポンプのメスカプラーのリブを引張り、  
カンヌッキ本体のオスカプラーを接続します。  
接続部のカプラー Sleeve が外れていないか  
左右に回して確認をしてください。



電動ポンプ各名称

7.



操作スイッチのONとOFFボタンを押し  
カンヌッキを操作してください

8.



操作スイッチON・OFFすることにより、シリンダーが昇降し、チャックが配管を掴み支柱が床面より引き上がってきます。支柱が引き抜けるまでON・OFFを繰り返してください。シリンダーが下降した時、チャックが正常に装着されていない場合は、正常に装着してください。チャックに負荷がかかり破損する事があります。シリンダー上昇時はチャックの装着状態を確認してください。

また、電動ポンプとカンヌッキ本体の脱着は、必ずシリンダーが下がっている状態で行ってください。シリンダーが上がっている状態でも油圧ホースは外れますが、接続は圧力がかかっている為、ホースは繋がりません。目視でシリンダーが下がっているのを確認してから行ってください。

9.



油圧オイルの量は作業前に必ず確認をお願いします。油量が少なくなると油圧の伝達力が弱くなりポンプの中に空気が噛み、エア噛みして正常に電動ポンプが作動しません。電動ポンプを安定した場所で立ててから、画像→部の給水栓をマイナスドライバーで開き、オイルゲージで量を確認してください。ゲージより少ない場合は# 32の作動オイル(油圧オイル)を継ぎ足してください。

### ★ご注意ください★

1. シリンダーが上がった状態で油圧ホースをカンヌッキ本体から外さないでください。油圧がかかった状態では再度、油圧ホースを接続しても接続できません。必ずリリースバルブを戻しシリンダーが下がったのを確認して脱着してください。
2. 作業前は必ず給油口兼エアプラグで油量の確認を行ってください。油量が少ない状態で作業を行うと空気を押すことになり力が低下し力が伝達しません。また、エア抜きが必要となりますのでご注意ください。
3. 給油は電動ポンプの取扱説明書は参照ください。

株式会社タイガー